

令和3年度 糸満市立認定こども園自己評価報告書

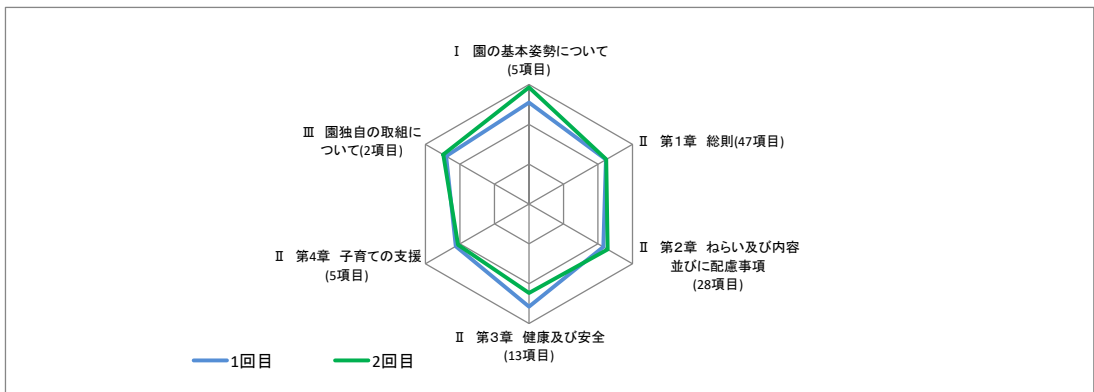
<評価方法>

十分理解できている（十分できている）…◎3点 理解している（できている）…○2点 ふつう…▲1点 努力が必要…×0点

集計結果

評価	糸満市立真壁こども園				園長 稲嶺 彰子			
	1回目				2回目			
	◎	○	▲	×	◎	○	▲	×
I 園の基本姿勢について(5項目)	55	103	11	0	81	92	12	0
II 第1章 総則(47項目)	374	926	171	3	363	930	208	0
第2章 ねらい及び内容並びに配慮事項(28項目)	178	590	95	1	192	622	96	0
第3章 健康及び安全 (13項目)	165	233	44	0	135	199	68	0
第4章 子育ての支援 (5項目)	31	105	15	1	36	86	28	1
III 園独自の取組について(2項目)	24	31	10	0	22	38	7	0

レーダー



【所見】

評価：・4月の職員会議で真壁こども園教育・保育計画の読み合わせと確認を全職員で行い、園目標や各年齢の発達についての共有を図った。また、週案作成時に、ねらいと幼保連携型認定こども園教育保育要領とのつながりを意識し、記載を徹底することにより、要領と実際の子どもの姿や方向性を確認していく機会となった。

〈保護者より〉

- ・広い園庭や畑を活用した戸外遊びや食育活動、子どもに寄り添った関りが見られ、良かった。
- ・コロナ禍の中、できる限りの保護者参加行事や登園自粛中の連絡など安心して過ごせた。

課題：・次年度も「園の基本姿勢」の項目、要領を意識し、教育・保育の理念やめざす園児像、3つの資質能力、今年度の重点目標などを再確認しながら、保育を行っていききたい。繰り返し共通理解をもち、園内研修等を通して、学びを深め、保育の質の向上を図っていききたい。